

ASHIYA HOSPITAL PRESS

HOPE



2010.7

No.15

[市立芦屋病院だより]

市制70周年記念講演会 Women's Health Care Ashiya

ウイメンズ
ヘルスケア
特集号

Program

開会の辞 芦屋市長 山中 健

講演 座長 市立芦屋病院 事業管理者 佐治文隆

- 1 アンチエイジングとスキンケア
(株)カネボウ化粧品 エステティックライフラボラトリー 所長 島上和則
- 2 ライフステージとホルモン療法
大阪樟蔭女子大学人間科学部 教授 甲村弘子
- 3 ウエルエイジングと排尿障害
市立芦屋病院産婦人科 部長 木村俊夫
- 4 若さをキープエクササイズ
(株)アクティブライフ 健康運動指導士 向 知子

閉会の辞 市立芦屋病院 病院長 金山良男



いつまでも健康で美しく

2010.7.25 日 午後2時 ▶ 4時

会場：芦屋市民センター・ルナホール
定員：660名（どなたでもお気軽にお越しください）

市立芦屋病院では市制70周年記念事業の一環と致しまして「ウイメンズヘルスケアあしや～いつまでも健康で美しく～」の講演を行います。女性のライフステージに応じた健康管理や疾病管理の改善とその向上が求められている今、市立芦屋病院では様々な角度から情報を発信し、女性がいつまでも健康に輝けるお手伝いができればと願っております。ぜひ皆様お誘い合わせの上ご参加ください。

市立芦屋病院では、芦屋セントマリア病院、南芦屋浜病院をつなぐ『3病院ネットワークバス』の運行を行っています。

8月2日(月)より芦屋市保健福祉センター(駐車場北側)に停車します!

時刻表など詳しくは病院ホームページをご覧ください。http://www.ashiya-hosp.com/

■3病院ネットワークバス [運営日時] 毎週月曜日～金曜日 午前7時45分～午後5時40分

※土・日・祝日は運休となっております。 ※車いすの方はご乗車できません。

無料バス
運行中です!



[運賃] 無料
[定員] 29名

子宮頸がん(しきゅうけいがん) 予防ワクチンのご案内

★ご存知ですか?子宮頸がん予防ワクチンのこと

あなたのからだを子宮頸がんの発症から長期にわたって守ってくれる、子宮頸がん予防ワクチンのご存知ですか?この子宮頸がん予防ワクチン、実は海外ではすでに100カ国以上で使用されているもので、市立芦屋病院でも6月よりワクチン接種を受けることが可能となりました。

子宮頸がんは、女性の命はもちろんのこと、妊娠や出産の可能性まで奪ってしまう、生活や人生に大きな影響を及ぼす病気ですが、定期的な検診によってがんになる前に発見できる病気でもあります。正しい知識をもっていれば、自分で予防できる子宮頸がん。大切なあなたのからだを守るために、予防ワクチンの接種をおすすめします。

～ワクチン接種後も1年に1度は定期的な検診を受けましょう～

★接種希望の方へ

10歳以上の女性であれば誰でも接種が可能です。子宮頸がん予防ワクチンは半年間に3回接種(初回接種、初回接種から1ヶ月後、初回接種から6ヶ月後の合計3回です)が必要で、3回接種することで十分な効果が得られるため、きちんと最後まで接種することが重要です。

市立芦屋病院では下記の時間に接種が可能です。ご希望の方は事前の予約をお願いします。

(子宮頸がんワクチンの電話でのご予約は午後2時～4時の間にお願いします)

★子宮頸がん予防ワクチンについて詳しく知りたい方は…

子宮頸がん予防ワクチンについて詳しく知りたい方はお電話をいただきましたらこちらから子宮頸がんに関するパンフレットをお送りします。

また下記のサイトもご案内していますのでご覧ください。

<http://www.allwomen.jp/>

【予約枠のご案内】

診療科	予約時間	
産婦人科	月曜日～金曜日 9時～11時	15歳以上の方は 婦人科での受診となります
小児科	火曜日・水曜日 15時～16時	15歳未満の方は 小児科での受診となります

★ワクチン接種の料金について

回数	料金
初回	18,000
2回目	16,000
3回目	16,000

乳がん検診・子宮がん検診を受けましょう!! 無料クーポン・検診手帳の交付について

昨年に引き続き、芦屋市にお住まいの方で一定の年齢に達した女性に対し「乳がん検診及び子宮がん検診の無料クーポン券」、「女性のためのがん検診手帳」の配布が始まっています。

この無料クーポン券、検診手帳をお持ちの方は当院で乳がん検診、子宮頸がん検診を無料で受けて頂くことができます。ぜひこの機会に受診されることをおすすめします。

なお、今年度は芦屋市以外のクーポン券での受診の受け入れはできませんのでご注意ください。

※無料クーポン、検診手帳の有効期間は平成22年7月1日～平成23年2月28日です。
※70歳以上の方は乳がん検診、子宮がん検診共に無料となっております。

子宮頸がんワクチン、乳がん検診、子宮頸がん検診に関する
お問い合わせ・お申し込みはこちらまで

予約TEL 0797-31-2156

子宮頸がんワクチンのご予約は午後2時～4時の間にお願いします

～無料クーポン券・検診手帳の交付は下記のとおりです～
《乳がん検診》

年齢	生年月日
40歳	昭和44年4月2日～昭和45年4月1日
45歳	昭和39年4月2日～昭和40年4月1日
50歳	昭和34年4月2日～昭和35年4月1日
55歳	昭和29年4月2日～昭和30年4月1日
60歳	昭和24年4月2日～昭和25年4月1日

《子宮頸がん検診》

年齢	生年月日
20歳	平成元年4月2日～平成2年4月1日
25歳	昭和59年4月2日～昭和60年4月1日
30歳	昭和54年4月2日～昭和55年4月1日
35歳	昭和49年4月2日～昭和50年4月1日
40歳	昭和44年4月2日～昭和45年4月1日

★内科よりご案内★

国際文化住宅都市である芦屋市には多くの外国人が居住されています。外国人市民の方にも安心の医療をスムーズに提供できるよう、市立芦屋病院では『国際外来』を設置しました。毎週火曜日の午前中と木曜日の午後には内科の白鹿部長が担当します。

また、内科では患者さんの待ち時間を少しでも減らし、診察がスムーズに行えるよう従来の4診体制から拡大して5診体制に変わりました。次ページでも紹介しておりますが、新しいDrを7月より迎えさらにパワーアップした内科にご期待ください。



女性にやさしい食品 — イソフラボン

大豆胚芽に豊富にふくまれるイソフラボンは、体内で女性ホルモンと同じような働きをするため、「植物由来のエストロゲン」ともいわれます。

1. 更年期の不調を予防・改善が期待できます。
2. 骨粗しょう症の予防が期待できます。

健康な人の1日の必要量は30～50mg。ただし、とればとるほどよいというものでもなく、とりすぎは逆効果となることがあります。



イソフラボン40mgは…
豆腐なら100g
納豆は40g

新任Dr.紹介



内科 竹田 晃

このたび7月1日付けで大阪府立急性期・総合医療センターより当院消化器内科部長に着任いたしました竹田です。昭和58年愛媛大学医学部卒業で、消化器、特に消化管内視鏡診断・治療、炎症性腸疾患を専門としております。前任地では消化器内視鏡センター長として、診療および若いDrの教育を担当してまいりました。診療では、急性疾患（消化管出血、総胆管結石による胆管炎など）の緊急内視鏡治療、早期がん（食道・胃・大腸）の内視鏡治療や末期がんの緩和内視鏡治療、胃瘻造設をはじめ、様々な内視鏡治療に携わってきました。

芦屋病院への赴任にあたり、1) 迅速で正確な診断と質の高い治療の提供、2) 地域の先生方と密な連携を図り、紹介の円滑な受け入れと逆紹介の推進、3) 学会発表や講演会を通じて情報発信を促進することが当面の目標と考えております。今までの経験を生かし、消化器内科スタッフ全員で力を合わせて地域の皆様に満足していただけるような医療を目指してまいりますので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

認定看護師紹介



地域連携室
陰山 美穂子

今回、訪問看護認定看護師教育課程において、在宅医療において訪問看護師が果たすべき役割を学んでまいりました。最近、病院における治療だけでなく、退院後の患者さんを受け入れる地域医療と病院との連携が重要視されてきています。現在、私は、退院支援看護師として、病院での治療を終えられた患者さんが、安心して在宅で過ごすことができるよう、患者さんやご家族様のご希望をお聞きしながら、病院や地域医療スタッフと連携して、患者さん一人一人に最適な在宅ケアを考える仕事をしています。これからも、患者さんやご家族様のため、病院と地域医療をつなぐ懸け橋となれるよう、教育課程で勉強してきたことを役立てていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

市立芦屋病院では、訪問看護認定看護師以外にも皮膚排泄ケア認定看護師、感染管理認定看護師が同じように院内で活躍しております。また、看護の質向上の為、現在、救急看護認定看護師、がん化学療法認定看護師、緩和ケア認定看護師の育成に向け取り組みをおこなっております。



8月

院内の催し各教室のご案内



芦屋病院

マチナーコンサート

テーマ

『日本伝統～箏曲の調べ～』

日時：8月29日(日)午後2時30分～3時30分

場所：外来棟5階ホール 出演：片岡 リサ

問い合わせ：地域連携室

入場無料です

病院公開講座

テーマ「がん化学治療における緩和ケアの役割」

日時：8月28日(土) 午後2時～3時30分

場所：芦屋市民センター401号

講師：市立芦屋病院 診療局長 西浦 哲雄

受講料：200円

問い合わせ：公民館 TEL 0797-35-0700

市民ギャラリー

テーマ

『クリーンルームからの漫画ギャラリー』

日時：8月1日～8月31日

場所：5階渡り廊下展示ギャラリー

問い合わせ：地域連携室



両親教室

テーマ「お産の経過・あかちゃんのお風呂」

日時：8月14日(土)午前10時～12時

場所：南病棟1階講義室

対象：妊娠22週以降の妊婦さんとパートナー

問い合わせ：産婦人科外来(電話は13時以降)



よろず相談

毎週火曜日・金曜日午前10時から12時まで市役所北側1階において芦屋病院の看護師が医療よろず相談会を行っています。料金は無料です。気軽にお越しください。

※8月は糖尿病教室・肝臓病教室はお休みさせていただきます。

病院夏祭り2010



日時：8月27日(金) 午後5時30分～午後7時30分

場所：外来棟5階ホール

料金は
全て無料です

今年も夏祭りを行います。病院スタッフが入院患者さん、地域の皆さんと楽しい夏のひと時を過ごせる様、様々な出店を準備しています。皆さまお誘い合わせの上ご参加ください。



事業管理者のつぶやき

市立芦屋病院 事業管理者 佐治 文隆

◆ 女人禁制 ◆

芦屋病院の看護局長は歩くのが好きで、毎日の通勤も坂道をものともせず、43号線より南の自宅から徒歩で往復しています。その彼女が健脚を活かして、奈良県南部の大峰山に登ってきました。大峰山系は古来修験者の道場として有名で、とくに大峯山と称する山上ヶ岳は頑なに女人禁制を守る山伏の修業の場で知られています。近年の大峰山の話題といえば、女人禁制の開放をめぐる論議のようです。女性による登頂の試みは百年以上前からされていたようですが、男女共同参画審議会の設置等、男女の性差別の撤廃をめぐる議論とともに大峯山も女性差別の象徴とされ、世界文化遺産登録にあたって女人禁制の開放を求める運動が盛んになりました。しかし、今も山中には約10km四方が女性の立ち入り禁止で、看護局長がご来光を拝むために夜半から登山したのは、俗に女人大峯と呼ばれる稲村ヶ岳だったそうです。

私が大学に勤めていた頃、研究の手伝いをしていていた女性が、奈良県の某有名神社の神主の一人息子と結婚しました。結婚式は橿原神宮で行われ、なんと新郎は衣冠束帯、新婦は十二単で百人一首の絵札を見るようでした。披露宴が型どおりあったわけですが、祝辞は新郎側の主賓、来賓、友人の順で始まり、新婦の主賓のお祝いは、新郎側親族の挨拶の後でした。私はもちろん新婦の客として招待されていたわけですので、お祝いを述べるにあたり、「いにしへの時代から高天原は天照大神が支配し、わが国は女性優位の世界でした」と始めました。会場は一瞬しんとりましたが、新婦側から拍手こそなかったものの「してやったり」の空気が流れました。新郎親族の困惑した顔が今でも目に浮かびます。

私の前任地で、歴代の院長は地元の社交・親睦団体であるクラブに入ることになっていました。しばらくするとクラブの委員会の世話役になるように言われ、担当したのは会員増強委員会でした。このクラブに女性会員が一人もいないことに違和感を覚えていた私は、今年度の目標のひとつに女性会員の入会を挙げ、委員会の賛同を取り付けました。次は全会員の賛成を得なければなりません。欧米はもちろんのこと国内のクラブにおける女性会員の比率をデータとして示し、ガバナーと呼ばれるエライさんにお越しいただき、会員増強にはいかに女性会員に入会してもらおうかが大事であると講演までしてもらいました。その結果はどうだったでしょう。「我がクラブは発足以来女性会員がいない。その伝統を破る必要はない」と、私の試みはあえなく失墜しました。

それでも、それでも、世の多くの男性は女性に頭が上がらないのではないのでしょうか。その女性たちがいつまでも健康で美しいことは、男性にとっても元気の源になるのではないのでしょうか。今月7月25日に市立芦屋病院が提供する市制70周年記念講演会「ウイメンズヘルスケアあしや～いつまでも健康で美しく」に参加して、世の中を元気に明るくしてください。女性だけでなく男性も足を運んでください。奥様、お嬢様、お母様から見直されること、請け合いです。



事業管理者のつぶやきについてはホームページにも連載しておりますのでぜひご覧下さい。

レストラン桜坂リニューアル工事のお知らせ

リニューアル工事の為、外来棟5階のレストラン桜坂が8月から9月上旬まで営業をお休みさせていただきます。外来患者さんやご面会にお越しの方々には大変ご不便をお掛けしますが、ご了承ください。



<http://www.ashiya-hosp.com>

市立芦屋病院についてのさらに詳しい情報については、ホームページをご覧ください。

市立芦屋病院ご案内

交通案内

- JR芦屋駅、阪急芦屋川駅から タクシー 約5分
- JR芦屋駅、阪急芦屋川駅のりば2番 バス 約15分
- 徒歩 約30分



市立芦屋病院

〒659-8502 芦屋市朝日ヶ丘町39-1
 TEL:0797-31-2156 FAX:0797-22-8822
 ホームページ <http://www.ashiya-hosp.com>